

直管LED器具 富士型 照明器具

非常用照明器具（電池内蔵型）

（防雨・防湿型） 品番 NWFG（NWFGH）41001 NWFG（NWFGH）41002
NWFG（NWFGH）42001 NWFG（NWFGH）42002

※左記（ ）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

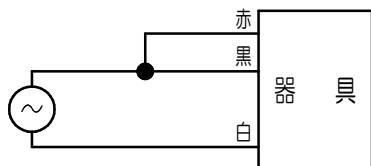
- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具、光源部の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 必ず指定のパナソニック製LEDランプを使用する。管径・口金が異なると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）、周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると感電・火災の原因となります。
- 水平天井直付専用です。他の取り付けはしないでください。落下の原因となります。
- 電源電線の接続は確実にを行う。接続に不備があると、火災の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は、確実にを行う。感電、火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続など）はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい、D種（第3種）接地工事をする。接地が不完全な場合、感電、漏電の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。
- 万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解したり火や水に投入しない。破裂・やけど・感電・火災の原因となります。

注意

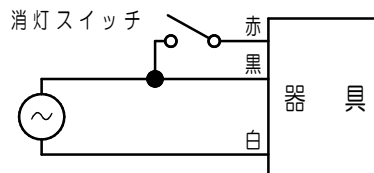
- 軒下などの雨線内で使用できます。ただし、風の強い場所、常時高温・高湿度になる場所、腐食性ガスの発生する場所、塩害を受ける場所、屋内プールなどの塩素雰囲気さらされる場所、振動の強い場所、エアコンの冷風が直接当たる場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 直射日光の当たる場所には設置しないでください。過熱による故障・短寿命の原因となります。
- この器具は防湿・防雨型器具です。サウナなど高温になる場所には使えません。過熱による火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつきや短寿命及び非常点灯しない原因となります。
- 寒冷地などで外気に通ずる場所に設置した場合、非常点灯時間が極端に短くなるおそれがあります。やむを得ず設置する場合は、非常点灯時間の点検を頻繁に行ってください。（少なくとも半年ごとの点検は必要）
- 断熱材、防音材などを施工した場所には使用しないでください。火災の原因となります。
- 電源と通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 48時間充電後、非常点灯の確認をしてください。充電しないと非常点灯しません。
- 器具の取り付け、取り外しは手袋などの保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- ガードの取付は必ず適合するものを使用してください。落下の原因となります。
- 非常用照明器具として使用する場合は、次のように配線してください。

配線種類

・2線式（連続点灯する場合）



・3線式（壁スイッチなどで点滅操作する場合）



※壁スイッチは、赤線回路に設けてください。

※壁スイッチで消灯しても電池への充電は行われています。

施工上のご注意

- ・T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書を参照してください。
- ・短寿命の原因となりますので、直射日光の当たる場所に設置しないでください。



取説No. NWFG42001-T3

各部のなまえと取付方法

NWFG42001の例で説明しております。



警告

施工は、施工説明書にしたがい確実に施工。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

1 取付前の確認

- 器具質量（4.8kg：NWFG42001の場合）に十分耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。
（取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。）
不備があると器具落下の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

2 本体の取付

- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取付ボルトに確実に取付ける。（取付ボルト推奨トルク値1.5N・m）
- 器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
不備があると器具落下・感電の原因となります。

3 電源線・アース線の接続

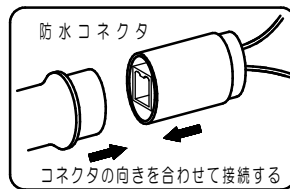
- 電源線、アース線と器具口出し線を接続する。
- 接続部の絶縁、防水処理（融着テーピングなど）を確実に施工。
- D種（第3種）接地工事が必要。
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- 口出し線の種類：ポリエチレン絶縁電線
- 電線の線径：0.75mm²



警告 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

4 コネクタの接続

- 常用電源接続後、蓄電池の防水コネクタを接続してください。
接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。



5 反射板の取付

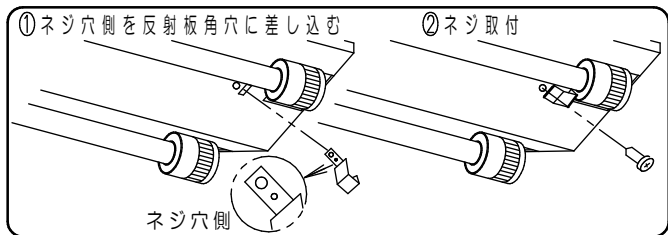
- モニターランプと反射板の穴の位置を合わせる。
- 点検スイッチを反射板の穴に通す。
- ツマミネジを締め付けて反射板を確実に取り付ける。
取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。
- 注）反射板エンド部の梱包材をとりはすしてから 反射板を取り付けてください。

6 ランプを確実に取り付ける

- 適合ランプは、「お手入れ・ランプ交換」を参照してください。
- ランプにソケットキャップをはめこむ。
- ▽マーク付ソケットにランプピン1本ピン側を取り付ける。
（ランプに方向性があります。向きを確認して取り付けてください。）
- ランプをソケットの奥まで挿入して、確実に取り付ける。
- 発光部が照射方向となるように90°回転させて取り付ける。
取付が不完全な場合、ランプ落下、照度低下の原因となります。
- ソケットキャップをソケットにしっかりと締め付ける。
取付が不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。

7 取付金具の取付

- 下図に従い取付金具のネジ穴側を反射板に差し込み引っ掛ける。
- ドライバーで同種のネジを締め付け固定する。
- ネジ頭の破損防止の為、電動ドライバーは使用しないでください。
- 指定以外のランプ使用を防止するため必ず取付金具を取り付けてください。

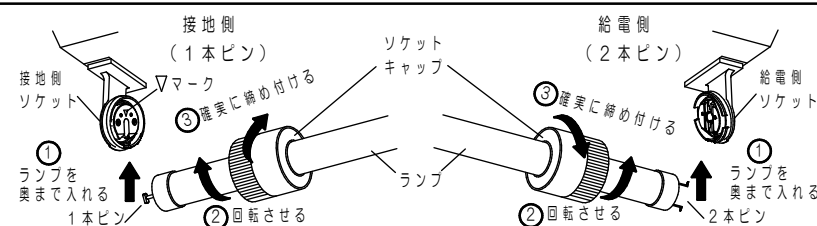


8 点灯確認

- 電源通電状態で、ランプ及びモニターランプが点灯するか確認する。
- 点検スイッチを引き、非常点灯を確認する。
（充電モニターは消灯します）

正常に動作しない場合は
「故障かな？と思ったときは」
の項を参照してください。

絶縁不良、感電のおそれあり。下記注意点にしたがい、確実に取り付けてください。

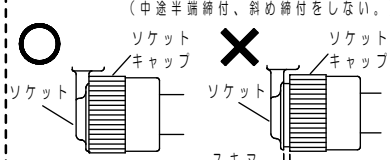
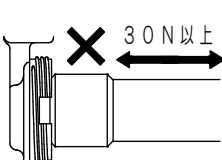
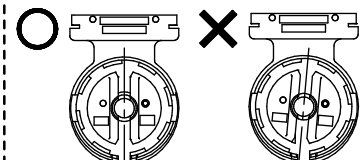
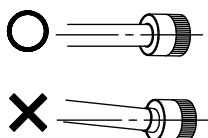


ソケットキャップ取付時の注意点
：ランプをまっすぐに挿入する。

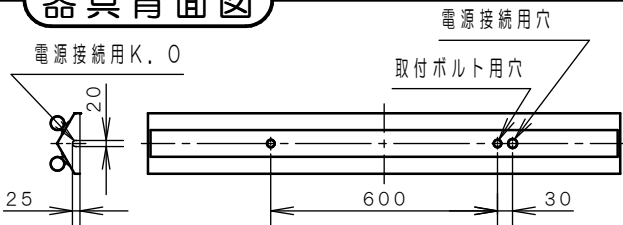
①の注意点：給電側ソケットの回転部分が
下図の位置にあることを確認する。

①の注意点：ランプ長手方向に30N以上の
力を加えない。

③の注意点：ソケットキャップとソケットに
スキマが出ないよう締め付ける。
（中途半端締付、斜め締付をしない。）

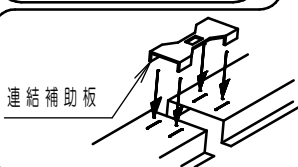


器具背面図



本体連結方法

・連結補助板（FSK41111：別売）にて固定。



- 連結台数が多い場合（5連結以上）には
1 本体に連結補助板を付け、引っ張り
気味に取り付ける。
- 2 本体・反射板の取付は中央部から両
端へ向かって取り付ける。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具、光源部の分解、改造をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 布や紙など燃えやすい物でおおわない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。
- 製品に衝撃を与えない。破損した場合、感電・火災の原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損（ひび・割れ等）した状態で使用しない。
破損した状態でも点灯しますが、使用し続けると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水に投入しない。破裂する危険があります。
- 蓄電池を分解しない。やけど・感電の原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 落下した蓄電池は使用せず、回収をリサイクル業者に依頼する。
但し、落下した際にケースが破損した場合は、電極部と金属部分が接触しないよう電気絶縁用ビニルテープで絶縁し、
各自治体のルールに従い、廃棄物として処理する。不備があるとショートによる破裂・やけど・感電・火災の原因となります。

注意

- 光源として高輝度LEDを使用しています。長時間の直視は避けてください。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。（※1）
法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検を受けてください。必要な場合は当社営業所へお申し出ください。（チェックシート番号：CLX2021JA）
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- 長時間器具を使用しない場合は、蓄電池は外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り換え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。使用条件は、周囲温度30℃です。

■LED光源の寿命は、40000時間です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合など寿命が短くなります。

点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。

使用上のご注意

- ・調光機器などとの組合せはできません。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機などの誘導無線を使用する場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のランプでも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・接地極のない電源に接続する場合は、消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。あらかじめご了承ください。

お手入れ・部品交換

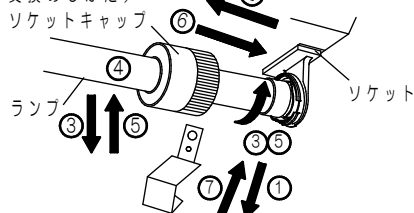
- ・器具の清掃について―― 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について―― この器具の適合ランプは、直管LEDランプです。
ランプ交換の際は、必ず下記に指定の
パナソニック製ランプを使用してください。

	直管LEDランプ	蓄電池
NWFG41001, NWFG42001	LDL40S・N/29/38-K	FK716
NWFG41002, NWFG42002	LDL40S・N/19/25-K	(7.2V 3000mAh)

警告

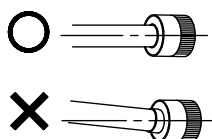
- 感電のおそれあり
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- ランプ破損のおそれあり
ランプはガラス製です。取扱に注意してください。
- やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと。
- 非常時に正常点灯せず
必ず指定の適合ランプを使用すること。

（ランプ交換のしかた）

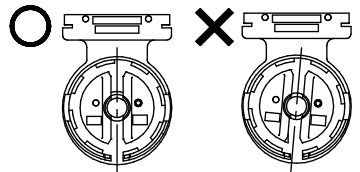


- ① 取付金具をはずす（非常点灯・アース側のみ）。
- ② ソケットキャップをソケットから取りはずす。
- ③ ランプを90°回転させ、ランプを下方向に取りはずす。
- ④ 新しいランプにソケットキャップをはめこむ（下図参照）。
- ⑤ ランプをソケットに取付け、ランプを90°回転させる（下図参照）。
- ⑥ ソケットキャップをソケットにしっかりと締め付ける（下図参照）。
取付が不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。
- ⑦ 取付金具を取り付ける。

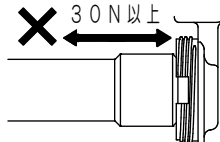
④ の注意点：ランプをまっすぐ挿入する。



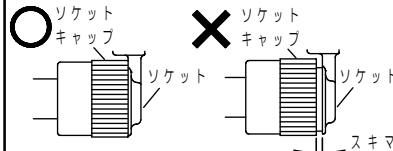
⑤ の注意点：給電側ソケットの回転部分が下図の位置にあることを確認する。



⑥ の注意点：ランプ長手方向に30N以上の力を加えない。



⑥ の注意点：ソケットキャップとソケットにスキマが出ないよう締め付ける。（中途半端締め、斜め締めをしない。）

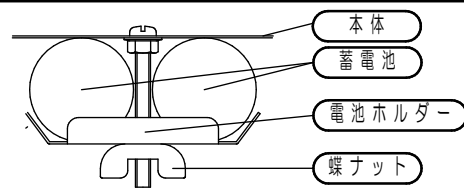
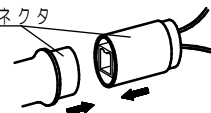


お手入れ・部品交換（続き）

・蓄電池交換方法————— 下図を参照のうえ確実にこなってください。

- 1 取付金具、ランプをはずす。
 - 2 反射板をはずす。
 - 3 蓄電池を交換する。
 - ・蓄電池防水コネクタを抜く。
 - ・蝶ナットと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。
 - 4 蓄電池を取り付ける。
 - ・外した手順と逆の手順で確実に取り付け。
 - ・電池ホルダーでリード線をきずつけないでください。
 - ・感電・火災の原因となります。
 - ・防水コネクタは確実に差し込む。
- 接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。
- 5 反射板、ランプ、取付金具を取り付ける。
 - ・外した手順と逆の手順で確実に取り付け。
 - 6 点灯確認
 - ・電源通電状態でランプおよび充電モニタが点灯するか確認する。
 - ・点検スイッチを引き非常点灯を確認する。

防水コネクタ



保証について

- ・保証について——— この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
ランプなどの消耗品は除きます。詳細は当社カタログを参照してください。
- ・保証書について——— 保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。
- ・補修性能部品の保有期間——— 当社はこの照明器具の補修性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

◆点検実施のお願い

電池内蔵型器具は性能維持のため、6ヶ月に1回は非常点灯への切り替え、非常点灯時間の確認を必ず行ってください。
（常に適正な状態に維持するために、法令※で定められた定期の点検に加え、上記点検の実施をお願いします。
非常点灯が極端に短くなるおそれがあります。）

※誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められています。

◆設置年月日 年 月 日

◆取付場所

◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

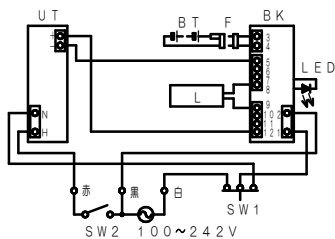
故障かな？と思った時は

・表に従って調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

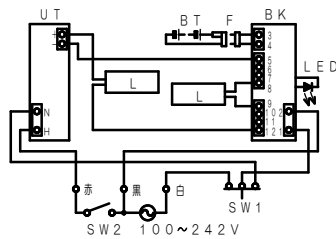
現象	考えられる原因	処置
常時、LEDランプが点灯しない	LEDランプの寿命 消灯スイッチOFF	ランプを交換する スイッチをONする
非常点灯しない	蓄電池コネクタ外れ AC電源が通電状態となっていない	コネクタを接続する AC電源を通電状態とする
短時間しか点灯しない （30分未満）	蓄電池の充電不足 （保管時の自然放電や、施工時の放電など）	48時間以上充電する
充電モニターが点灯しない	蓄電池の寿命 蓄電池コネクタ外れ	蓄電池を交換する コネクタを接続する

器具定格・接続図

接続図
（1灯タイプ）



接続図
（2灯タイプ）



部品の記号と名称

UT：電源ユニット
SW1：点検スイッチ
BK：ブロック
SW2：常用消灯スイッチ
BT：蓄電池
LED：充電モニター
L：ランプ
F：ヒューズ付コネクタ（10A）

定格

品番		AC100V	AC200V	AC242V	ランプ	非常時光束
NWFG41001	入力電流	0.37A	0.19A	0.16A	LDL40S・N /29/38-K	1900lm
	入力電力	37W	37W	37W		
NWFG42001	入力電流	0.67A	0.34A	0.29A		
	入力電力	67W	66W	66W		

品番		AC100V	AC200V	AC242V	ランプ	非常時光束
NWFG41002	入力電流	0.26A	0.14A	0.12A	LDL40S・N /19/25-K	1400lm
	入力電力	26W	26W	26W		
NWFG42002	入力電流	0.46A	0.23A	0.20A		
	入力電力	45W	45W	45W		



この器具には、ニッケル水素蓄電池を使用しております。

ニッケル水素電池はリサイクル可能な資源です。ニッケル水素電池の交換、及びご使用済の電池の破棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出しリサイクルにご協力ください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441（フリーダイヤル）【受付時間】月～土/9:00～18:00（祝日・三が日を除く）※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460（FAX）Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

MN0418-030622